



喜小だより



令和3年12月13日発行

発行者 齋藤孝之

自ら学ぶ子 思いやりのある子 健康な子

一人一人がきらきら輝く喜連川小学校

「いじめゼロ宣言」の振り返り

子どもたちが入ってくる昇降口の下駄箱の上に、赤や白の花を咲かせたシャロバサボテンがきれいに咲き誇っています。クリスマスが近づいてくる時期に花を咲かせることから、クリスマスサボテンという別名もあるそうです。

さて、11月に各クラスで考えた「いじめゼロ宣言」の振り返りを行いました。ほとんどの児童がクラスのいじめ宣言を守ることができたと回答しています。この場で、子どもたちが振り返りで記入したことを紹介しますね。「ていねいに言われるとまねしたくなる」(1年生)、「休み時間に一緒に遊ぼうと言ってよかった」(2年生)、「ふわふわ言葉を使って生活すると気持ちがよい」(3年生)、「相手が喜ぶ言葉を使ったら、相手が喜んでくれた」(4年生)、「相手を傷つけないよう相手の気持ちを考えたから、けんかがなくてよかった」(5年生)、「特定の人とだけ仲良くするのではなく、いろいろな人と仲良くできて、さらにクラス全体が仲良くなったと思う。うれしいです。」(6年生)。

子どもたちの温かい思いに、胸が熱くなりました。



感謝の集い 12月8日(水)

日頃からお世話になっている地域の方や学校支援ボランティアの方々に、感謝の気持ちを伝えることを目的として「感謝の集い」を実施しました。「感謝の集い」は児童会の行事として行います。そのために、児童会を中心としながら、各学年で計画を立てながら準備を進めてきました。



各クラスで話し合ったことを持ち寄って、3年生以上の代表委員会を行い、プレゼントを作成することや感謝の気持ちを伝えるための出し物(ビデオで撮影)を見てもらうことに決めました。



1年生は運動会で行ったダンスを、2年生は歌を、3年生はメッセージを、4年生～6年生は音楽で学習したリーダの演奏をビデオに撮影しました。子どもたちは、心を込めてセリフをしゃべったり、歌ったり演奏したりしていました。



いよいよ当日を迎えました。代表児童の感謝のことは、動画の視聴、プレゼントの贈呈、そして招待者の代表の方のあいさつ、校長の話と、児童会の企画委員を中心に温かい「感謝の集い」を実施することができました。招待者代表の方には、「みんなの感謝の気持ちが伝わってきてうれしかった」ことをお話しいただきました。子どもたちの「感謝の心」も、確実に育っています。

6年生卒業アルバム作成 12月7日(火)

6年生の卒業アルバム撮影が佳境を迎えています。この日は、アルバムの一番のメインである一人一人の個人写真を撮影しました。一生残るアルバムです。子どもたちはとびきりの笑顔で、撮影に臨んでいました。



4年生総合的な学習の時間

認知症サポーター講座 12月6日(月)

4年生の総合的な学習の時間に、「福祉」をテーマにした活動があります。これまで、車椅子体験やアイマスク体験、高齢者体験等を行い、いろいろな不自由さを体験してきました。今回は、高齢者の「認知症」にスポットをあてて学習を行いました。専門家をお呼びしての学習です。まずは「認知症」についての理解をした後に、認知症のお年寄りに声を掛けていく演習を行いました。認知症へのサポートの重要性を学んでいました。



本校の特色紹介⑤ 少人数指導

本校の学力向上に向けた取組として、少人数指導があります。4～6年生の「算数」の時間に実施しており、算数の時間は教室と学習室の2つに分かれて、それぞれ担当の教師が同じ内容の学習を進めています。一人一人の児童に教師が関わることができる時間を多くして、子どもたちの理解度を細やかに確認しながら学習を進めていくためです。子どもたちに、分かる楽しさを提供していきます。



避難訓練 12月9日(木)

全校生一斉の避難訓練を実施しました。1・2年生は、一斉の訓練は初めてです。先生の指示をしっかりと聞いて、行動することができました。安全・安心、最優先です。

